

## 播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会（第4回）議事録

開催日時	令和5年12月22日（金） 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	播磨町役場 第2庁舎3階会議室1
出席委員	（10名）
事務局	（5名）
協議事項	（1）第3次はりま健康プラン素案について （2）その他
会議資料	第3次はりま健康プラン計画素案 委員会次第 アンケート修正資料

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1. 開会 2. 議題
会長	<p>議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をよろしくお願いたします。</p> <p>会議次第に沿って、議事を進めてまいります。「第3次はりま健康プラン素案」について、事務局よりご説明頂いた後に、ご意見を頂ければと思います。</p> <p>それでは、議題（1）「第3次はりま健康プラン素案」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	—資料を基に説明—
会長	<p>検討していただきたいところについて、1点ずつ皆さんにご意見を頂きたいと思います。</p> <p>52ページ、20～64歳の運動習慣のある人の数値目標設定が40%程度でいいのかについて、ご意見をお伺いします。</p>
委員	人によって数値が違うので、これでいいのではないのでしょうか。
会長	<p>40%で数値は妥当ということにいたします。</p> <p>次に、56ページ、「歯及び口腔の健康」で「8020」達成者の割合をアンケート調査から評価するほうがいいのか、町の歯科健診から評価するほうがいいのか、ご意見を頂きたいと思います。</p>
委員	<p>歯科健診からの評価がいいと思います。また、「歯周病の可能性を有する人」とありますが、30歳以上はほとんどが歯周病の可能性があるので、この書き方ではなく、「進行した歯周病の可能性」という書き方のほうがいいと思います。</p> <p>「むし歯のない子どもの割合」が兵庫県健康増進課のデータですが、播磨町では取れないのですか。</p>
事務局	このデータは、県が取りまとめている播磨町の値です。
委員	出典を播磨町としたほうがいいと思います。また、表の並べ方として出典に応じて、「歯の喪失防止」と「むし歯のない子ども」を上にして、住民アンケートを下にしたほうがいいと感じます。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	今回のアンケートでは、厚労省が出している歯周病チェックリストにて、一つでもチェックがついた人を算出しています。「進行した歯周病の可能性」を有する人の割合に変更するならば、「進行した」を計る別の指標を探さなければなりません。そのため、今回は「進行した」を計る設問項目に変えることもできますが、今回は難しいと思われます。一度、どのように算出するのか検討します。
会長	歯周病の可能性のある人の割合がどのデータから引っ張ったのか、分かったほうが良いと思います。どのようなところでチェックがあった人というのは、どこかで説明を入れたら良いと思います。
事務局	注釈4に、アンケート調査で歯周病の可能性の症状に「どれもあてはまらない」と答えた人と不明無回答を除いた人、何らかのチェックが入った人が該当しています。
委員	「歯周病の可能性」は漠然としているので、「歯周病が進行している」または「進行していると思う人の割合」という記載にしたほうが良いかもしれません。年齢が細かく10代ごとに分かれていれば良いと思います。
会長	説明に加えても良いかもしれません。
事務局	これを歯周疾患検診の項目からとってきたほうが良いでしょうか。「歯周病が進行していると思う人の割合」で、どこか一つにチェックした人でもおかしくはないですか。
委員	おかしくはありません。思うのでチェックしていると思います。
事務局	確認ですが、パーセンテージはこのままで変わらないけれども、書き方を「歯周病が進行していると思う人の割合」として、アンケートから算出しているということに変更したら良いでしょうか。指標の掲載順は、1番が「歯の喪失防止」、2番が「むし歯のない子どもの割合」、3番が「歯周病が進行していると思う人の割合」、4番が「歯科健診受診率の向上」にして、「むし歯のない子どもの割合」の出典を健康福祉課としたら良いですか。
委員	数値目標は、改善することを目指す目標値です。現状よりも改善

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	<p>するように取組があるのですが、取組がこれで十分なのかという視点で、もう一度見直すことも必要かと思えます。</p> <p>「歯及び口腔の健康」に関する情報を入手する機会はまったくないに等しいです。歯が痛くなれば歯医者には行きますが、それ以外はないので、もっと広く歯や口に関して、今までにはなかった形の情報提供の機会ができるといいと思えます。一例として、いきいきサロンで高齢者に対して「歯及び口腔の健康」に関する講座を行い、より良い情報が得られる機会があればいいと思いました。</p> <p>目標値は定めたとしても、それが本当に目標に向かっていくかという、個人に任せられる形になってしまうので、もう少し具体的なアクションが必要と思えます。</p>
委員	<p>数値目標と取組が乖離するような状況ではいけないだろうと思えます。</p>
会長	<p>日本は歯に関することはすごく遅れていると言われます。予防がすごく大事だと思います。いろいろな機会があると思えます。</p>
事務局	<p>歯に関してPRしたいのですが、歯だけの健康講座だと人が全く集まりません。今年度は、ダイエット教室を若い人向けに行っています。その中で「歯と栄養の話」を歯科衛生士に話してもらったら、皆さんの満足度が高かったです。また、幼稚園の母親に対して、話に行かせてほしいということを言っています。何かと抱き合わせで聞いてもらうことが、一番聞いてもらえるアピール方法だと思います。聞く機会が少ないと言われるので、取り組んでいきたいと思っています。高齢者に対しても既存のものに入っていきうほうがいいと考えています。</p>
委員	<p>内容が用意されているのであれば、私どものサロンでお願いしたいと思えます。今の内容を項目に入れて、情報提供の機会を増やしていく形にしたらいかがでしょうか。</p>
会長	<p>町が皆さんに啓発するようなテレビはありませんか。</p>
事務局	<p>BAN-BAN テレビというケーブルテレビがあります。どれくらいの方が見ていただけるかは分かりませんが、そこで健康ポイントなどはPRしています。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	いい歯の日や虫歯予防デーなどで、PRしたらどうでしょうか。
委員	来てもらうことも大事ですが、動画を素材にして流すようにしたほうがいいかもしれません。そういうものを利用して、何かと併せて流してはいかがでしょうか。
事務局	歯科の啓発をするような動画を、何かの待合やイベントと抱き合わせたりして、流して見ていただくことも考えられます。
会長	いろいろな形で目標に向けてできることを取り組むということですね。 歯に関してはよろしいでしょうか。
事務局	8020 の出典はどちらがいいでしょうか。
委員	これはこのままでいいです。
事務局	ここに記載してあるのは健診の結果で、非常に高い値になっているので、アンケートのほうに変えたほうがいいのかということですか。
委員	アンケートも載せていいと思います。
事務局	アンケートとだいぶ乖離しているのですが、34 ページの 47.4% に変えて載せたほうがいいのか。素案の 56 ページに載せているほうが対象者数としては多いのですが、健康意識が高い方が多いのかなと推測しています。どちらの数値から拾うほうがいいのか難しかったので、ご意見を頂ければと思います。
会長	アンケートにするか、歯科健診結果にするかのどちらかですね。
事務局	アンケートのほうが現実味があるのであれば、出典を 2 ではなく 1 にしてもいいかと思っています。そうなれば、令和 5 年度の数値もアンケートの数値に直します。
会長	63 ページ、「7 健康チェック」の数値目標の「介護が必要な期間の短さ」について、県内 1 位の目標とともに数値をどのように記したらよいか、ご意見を頂きたいとのことですが、いかがですか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>昨日の厚生教育常任委員会で言われたのですが、この目標自体は載せていいのですが、県内1位という指標だけだと、例えばほかの市町が仮にすごく悪化した中で県内1位になっても、それは評価としてどう捉えたらいいのか難しくなります。それならば、ある程度数値として示したほうが評価しやすいのではないかという意見がありました。</p>
副会長	<p>13ページに県下の歳が書いていますが、芦屋市は平均寿命も健康寿命も男女ともに1位です。年々、平均寿命は全体的に上がっているため、播磨町が県内1位というのはとてもハードルが高いと思います。介護が必要な期間は27位と25位で、芦屋市の健康寿命は男性82歳、女性86歳と、播磨町は男女ともに2歳差です。1位という目標はすごくいいのですが、あまり意味がないかなと思います。</p>
会長	<p>介護を要する期間を短くするとか、現状がどれくらいで、これくらい伸ばしたいなど、播磨町にこうなってほしいという目標のほうがいいということですか。確かに目標がはっきりしない感じがします。</p>
委員	<p>13ページの表について、数字をどう読むかによって意見が変わってくると思います。地域によって年齢構成は違うことを踏まえて、どう読めるかです。健康寿命と平均寿命の差は全体を通じて言えるのではないかと思います。少し分析されたうえでのご意見が必要だと思います。きちんと分析しないと、数値だけでは分からない部分があると思います。</p> <p>これに影響する要素がいろいろあると思います。その影響がどのようになっているのか分析してほしいと思います。そのうえで、目標を「介護が必要な期間」におくことはいいことだと思います。</p>
会長	<p>「介護が必要な期間」はどのように算出するのですか。</p>
事務局	<p>兵庫県で出しているのですが、要介護2、3、4、5を不健康期間として、それを除く人が健康とし、平均寿命から不健康な要介護2～5になった期間を除いて健康寿命になるということです。播磨町は軽度の人が高くて、予防できているので重度になっていないのではないかと推測しています。そこが播磨町のいいところでもあるので、そこをより伸ばし、重度になる前に予防して、県内1位</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>を目指したいということで挙げています。今回は分析までできていませんが、健康チェックの現状と課題には、平均寿命は県よりも低い状況であることは、この6年間の計画に取り組むにあたって、考えていかないといけない視点だと思い、記載しています。</p> <p>健康寿命の定義は、国と県では違います。国の設定は全国的な調査で出てくる数字ですが、県は持っているデータを使っており、播磨町も、結果を数字で見るには持っているデータを使わないといけないので、県の指標に合わせる形でいいと思います。</p>
委員	<p>県内1位にすることで内容が健康にどれだけ影響しているのかということが、全体で見たら分かりにくいと感じます。健康には日々の食事や運動や歯の健康など、すべてが影響するので、1位にしようと思うと全部を良い評価にしないといけないのではと思います。</p>
会長	<p>目標値を数値で出すことは難しいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>数値が出たほうがいいのかというご意見があったので、それをどう載せるのか、それとも参考値として掲載する程度にとどめたらいいのか、どう表現したらいいのか悩んでおり、皆さんにご意見を頂ければと思います。</p>
委員	<p>播磨町の健康プランで掲げる最初の表題は「健康長寿」です。それを表すための指標として、すべてを合わせて出てきた結果がここだと思うので、ぜひあげていただきたいと思います。目標値をどう置くかは別問題で、6年で県内1位は無理だと思います。そのためチャレンジという書き方をしているのだと思いますが、目標の設定は「30年後に1位」くらいでいいと思います。健康づくりの成果は長い期間続けて初めて出てくるので、着実に上げていくことが大事だと思います。</p>
会長	<p>介護が必要な期間というのは難しいですね。健康寿命の延伸は当然必要なことですが、介護が必要な期間を県内1位というのは基準として分かりにくいと思います。現実的に少しずつ減らしていくためには、6年間の見通しで数値化することも考えられます。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>数値化が難しいのであれば、年々上昇させるとか、下げないという感じのほうがいいと思います。</p>
委員	<p>向上させるという表現でいいと思います。県内1位という表記をしたら、行政と地域の取組で、どうやって県内1位を取るのですかという質問には答えられないと思います。</p> <p>順位が何番だから、ほかの市に比べて、播磨町が環境として良い悪いとか、生活レベルが高い低いとか、そういう問題ではなく、たまたま人口構成でこういう数値が出ているだけだと思うので、向上させるという形で良いのではと思います。</p> <p>平均寿命は生まれたばかりの子どもが何歳まで生きられるかを表していると思うので、数値をどう使えばいいのかというのは、難しいと思います。</p>
会長	<p>表現としては、「向上」や「良くなる」というような表現でいいと思います。</p>
委員	<p>チャレンジ目標を設定したことはいいことだと思います。播磨町としてどこに重点を置くかが見えてきてよかったと思います。それに向かって達成するためのアクションが非常に大事だと思います。今回宣言をしたことは、それだけの施策を取ることにつながるので、いいことだと思います。</p>
事務局	<p>この書き方ですが、「不健康期間の短さを縮小していく」という目標にするか、「健康寿命を延伸していく」という目標にするか、どちらの表現がいいでしょうか。</p>
委員	<p>縮小は下るようなイメージがあるので、いいほうを伸ばすほうが分かりやすいと思います。</p>
事務局	<p>そこを短さにするのであれば、何年を縮小していきますという目標になりますし、健康寿命の延伸であれば、年々少しずつ伸ばしていきますという目標になると思います。</p>
委員	<p>「健康寿命を伸ばす」という書き方をしたほうがいいかもしれません。</p>
委員	<p>3年後、6年後に評価しやすい指標にしてほしいです。基準が見</p>



議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	えていなければ評価できません。
委員	健康寿命の値を書いたらいいのではないのでしょうか。健康寿命の年数が増えたらいいということで、評価はしやすいと思います。
事務局	現状は目標よりも伸びたので、達成度は二重丸になっています。そこを同じような形で、延伸ということにして、6年後の値と比較するというので、よろしいでしょうか。
委員	年々延伸とかでいいのではないですか。
委員	なぜ県内1位にならないといけないのですか。全国1位でもいいと思います。その数値の根拠が分かりません。具体的に何をしたら平均寿命・健康寿命が伸びるかというポイントを絞って議論しないといけないと思います。こういう事業をしたので、これだけ伸びたという具体的なものを挙げたほうがいいと思います。
会長	「健康寿命の延伸」にして、現在の状況から健康寿命を上げるというご意見ですね。そのために一番大事な健康づくりとして施策で反映していくということです。
事務局	「年々延伸」でいいですか。
会長	延伸だけより、何かあるほうがいいと思います。
会長	この計画は10年ですか。
事務局	計画期間は6年です。
会長	6年後の予測は難しいですが、現時点よりも上がっているという表記でいいと思います。
	続いて、食育の67ページの数値目標の「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を毎日2回以上取っている成人の割合」を、令和5年度60.1%を80%まで上げることについて、いかがでしょうか。
事務局	67ページ、食育の現状値が60.1%ですが、アンケートのため各々の主観に偏った結果になってしまいます。県の目標が75%以上で、15%上げないといけない目標値になっています。事務局では、

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
副会長	<p>播磨町基準に落とし込むともう少し下げるか、県の計画を踏まえるなら75%以上は目指すべきなのか、どちらかと思っています。80%は少し高いだろうという思いを持っています。</p> <p>第4次兵庫県食育推進計画を見ると、令和2年の基準値が67%で、令和8年度目標値が75%以上です。播磨町は令和5年度が60.1%で、県の場合は6年後を8%プラスにしています。それに合わせると、播磨町の6年後は約70%弱となります。</p>
事務局	<p>その考え方でいくと、県でも67%を8%上げるという目標とすると、播磨町は60%を70%にしても、県よりも少し高い目標値を定めていることとなります。県の75%の目標には届いていませんが、播磨町は今よりも県の計画に寄与できたという捉え方もできるということです。その根拠が乏しいところもあるので、アドバイスを頂きたいと思います。</p>
委員	<p>具体的に何をすることが大事だと思うので、広報活動以外にこれをしたら上がるということがありますか。今、考えていることがあれば、教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>取組については記載していますが、食育というテーマそのものの広報が全然足りていないということが、行政の反省としてあります。バランスの良い食事が大事だということは、知識としては知っていると思いますが、毎日2回以上取ることが大事だと、発信していくことが不足しています。</p>
委員	<p>今まで以上に発信を強くするとこれだけ上がる、というようなめどがあるならいいと思います。例えば、学校給食はバランスが取れているので、生徒たちは少なくとも1食は取れています。あとは夕食でどうするかということですが、それは強制するわけにはいかないので、難しいところです。そのための手段があるかどうかです。</p>
事務局	<p>この指標は県も国も成人の割合なので、学校給食を受けている子どもたちはここには入らないという課題があります。学校給食に絡むところは、朝や夕食を家族と一緒に食べましょうというアプローチが別があり、その中でバランスよく取ることをつけると、子どもたちで見ると一日2食食べられましたということになります。複合的にアプローチした結果がここに反映されてくるのですが、明確に</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>これだということがない中で、播磨町なりの取組をしていかないといけないのが実情だと思います。まずは広報が必要だと思っています。どれだけ効果があるのか、数字が伸びるのか明確なデータはないですが、できることから取り組んでいくというのが実情です。</p>
委員	<p>これをしたらこれだけ上がるということがないのですよね。それで、目標値を先に決めてしまうと、どうやってそこに行くのか困ります。</p>
会長	<p>県が67%から75%で8%ですが、やはり播磨町も75%は目指さないといけないのではないですか。そこまでもっていく努力や具体的なことも必要だが、目指す目標として75%は基準としておいたほうが良いと思います。</p>
委員	<p>県の具体的な取り組みは決まっているのですか。</p>
事務局	<p>県の取組も私が把握している限りでは、大まかな内容となっています。</p>
委員	<p>それしかしょうがないです。人が食べるものを、「食べなさい」というわけにはいきません。</p>
会長	<p>こういう取り組みも抽象的で、具体的ではないですね。</p>
委員	<p>60%は信じられないほど低い数字で、なぜ100%ではないのかと思うくらいです。2食でなく3食で100%ではないのというのが私の感覚です。6割しかない理由が、経済的な問題を抱えている人がいるのか、いるならどれくらいいるのか、経済的な問題で食べられないのなら、いくらでも対処できると思います。経済的な問題ではないが、時間がないとか、食生活が重要だと思わない人が多いのか、その把握ができていない状態で、75%とか80%とかいう数字を議論しても仕方ないと思います。</p> <p>難しいので、県の並びで、75%と現状よりも高い目標にするという形もあるかと思いますが、実際のところ、なぜ60%なのかという分析が十分にできているのかが気になります。</p>
会長	<p>生活保護率は低いですね。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	23 ページに掲載しています。大体横ばいで、東播磨圏域との比較をしています。
委員	生活保護に関しては、生活保護の対象にはならないけれども、困窮世帯はたくさんあるので、生活保護の数値を見ても仕方ないです。むしろ、生活保護を受けている家庭のほうが裕福だと感じる人はかなりいます。
事務局	アンケートの結果分析を見ますと、年齢別に分けると、65 歳以上だと 78.1%は食べています。壮年になると 54.5%になります。18 歳～39 歳の青年期になると 37.9%です。行政も若者に向けてアプローチをしていくことを書いています。若者のほうが、忙しくてとれないのか、ライフスタイルが変わって朝ご飯を抜いている子が多いのか、朝を抜くという生活をしている時点で、昼と夜どちらもバランスよく食べないと達成できないので、そのアプローチの仕方をもう少し考えます。3 食とるか、2 食で補うスタイルの方もいると思います。健康ありきで測ったり、こういう生活ありきで語ってしまうと、息苦しさを感じる方もおそらくいるだろうし、ある程度好きにする中で、播磨町が目指していることをうたうのがこの計画の一つの意義だと思います。県計画に合わせて 75%という形にさせていただけたらと思います。
会長	年齢によってアプローチの仕方を考えないといけないということですね。
委員	「毎日 2 回以上とっている成人」という項目が必須であれば 75%でいいと思いますが、若年世代が一番課題なので、若年世代の数値目標をもう 1 項目増やすという形ではどうでしょうか。
委員	現役時代の昼はそばかうどんというイメージです。昼食をきちんと食べなさいといっても難しいと思います。
会長	私たちの町として目指す姿で、若い人たちのアピールのために、先ほどご提案いただいたように、目標値を年齢で分けて、示すのでもいいと思います。
事務局	アンケートで理由は聞いていないのですが、朝食をとらない理由は聞いているので、次回はバランスよく食べられない理由を聞いて

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	もいいかもしれません。  大事なことなので、上げていく必要があると思います。
事務局	今回意図をもって、行政の取組と地域の取組を二本柱でさせていただいているのですが、厚生教育常任委員会で、もう少し細かく、学校での取組、幼稚園での取組を前面に押し出してはどうかという意見がありました。行政の取組の中に学校の取組が含まれていますし、地域の取組や行政の取組の中に幼稚園、保育園、子ども園に関してのアプローチも入っているのですが、学校での取組を明確にうたったほうがいいのかというご意見がありました。 このままでいいというご了承をいただけると、このままの形で進められるのですが、抜き出したほうがいいのか、このままでいいのか、いかがでしょうか。
会長	方針は必要だと思いますが、あまりに細かいことについて記載するのは、現場に対してどうでしょうか。
委員	計画策定委員会で網羅できることはなく、議員も中身はよく分からないです。根本的なことは行政の流れで、策定委員会でそれぞれ考え方が違うので、網羅しろといっても無理だと思います。
会長	ほかにご意見はございますでしょうか。 72ページの「災害時の備え」ですが、備蓄品の量を7日分と3日分どちらかを目標にしたいということですか。
事務局	7日だけを目標にしてしまうと、やる気をそぐだろうということで、中間の3日も目標に定めようと考えています。それとは別に、量は別にして備えている人、あるいは意識を向けている人が4割と増加しており、3日の人は約25%の数値をもう少し上げていきます。防災計画が進めているのは7日になっているので、その目標は見据えて上げていこうと設定しています。この方向性で問題がなければ、このまま計画に載せたいと考えています。
委員	7日とありますが、家族構成によって変わり、そうするとハードルが上がってきます。広報にも書いているので目を通しますが、LINEで町からもいろいろなものが来ますが飛ばしてしまうこともあります。そういうことに関して、分かりやすいようにできたらと思

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>います。</p> <p>防災計画が求めている7日以上は、共助や公助が間に合う、提供できるある程度の期間、自助の範囲として頑張ってくださいということです。1日3食バランスよく食べることを想定した1食ではありません。1日2食になることもあれば、1食になることもあります。必要栄養量には高カロリーのものを備蓄するパターンもあり得ることを含めて、7日としています。世帯構成や年齢、その方の摂取できるものが固形物か液状なのかによっても、備蓄の量も形も全然違います。家によってスペースも違うので、そこも加味して、目安として7日というのを示しています。無理のない範囲で、さらなる段階で行くと栄養バランスも考えて、ローリングストックで期限も考えながら、意識した生活を送ることを次につなげていくことも、今後計画としては見据えていく必要があると考えています。播磨町はとりあえず3日分ということを周知していかないといけない段階です。</p>
会長	<p>目標値に3日分や7日以上というのは、何を目途にしたらいいのか分かりにくいのではないですか。</p>
委員	<p>1日何とか生きられたらいいというイメージはそれぞれ違うので、自分のイメージでの3日間程という感じではないでしょうか。それを表そうとすると大変なので、個人の主観で考えていただいたらいいと思います。</p>
会長	<p>ほかの方がいかがですか。議論が足りないところはないでしょうか。皆さんのほうから、ご意見や気になるところはありますか。</p>
委員	<p>計画自体はこれで策定していただいているのですが、具体的な施策が大事なので、どういう施策をするかがしっかり分かるようにできないかと思います。</p>
会長	<p>課題のあとに、行政の取組として掲載されていますが、もう少し具体的にということですか。</p>
委員	<p>今回チャレンジ目標を設定しているので、それに向けて何をするのかということが分かるようにしてほしいと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	予算を通すときに出てくるのではないのでしょうか。具体的な取り組みはそれからだと思います。
会長	基本的な行政の取組を具体化していくという形ですよ。ほかの方はよろしいですか。これからさらにパブリックコメントを行うということですか。
事務局	パブリックコメントは1月初めにあります。その意見を反映させて、まとめることとなります。
事務局	議題（2）その他 前回会議の議事録を郵送させていただき、特に修正等なければ、皆様に承認していただいたということで、ホームページに掲載しますので、修正等ある方はおっしゃってください。 次回が2月20日（火）午後1時半からこの場所になります。1月に実施するパブリックコメントの結果報告と、最終計画案の確認をしていただきます。次回が最終回になります。
事務局	食育推進計画に多いのですが、略語を使ったり、団体名の農業協同組合をJAと書いていたりするので、基本的には正式名称に切り替えたり、細かい文言は言い回しをきれいに直してからパブリックコメントに臨みたいと考えていますので、その修正があることをご了承ください。
会長	本日の会議はこれで終了とします。
事務局	3. 閉会